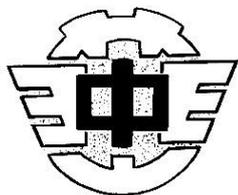


令和7年度

学校だより



TOYO SATO
とよさと

豊里学園

つくば市立豊里中学校

第1号

令和7年4月9日発行

令和7年度 スタートにあたって



校庭の桜も満開で生徒たちを見守っています

ご進級おめでとうございます。新7年生142名を迎え、全校生徒431名で令和7年度がスタートしました。どの学年も、始業式、啓志式、新7年生歓迎集会など立派な態度で臨み、新たな学年でのスタートができました。各学級での学級開きの学級活動でも、一人一人が生き生きとした表情で活動している姿が見られました。

さて、今年度も豊里中では、生徒の限りない可能性を信じ、一人一人の能力を伸ばせるよう、豊里学園および本校の学校教育目標「自己を磨き 夢の実現を目指す生徒の育成」に向けて、職員一同力を合わせて努力してまいります。

本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



始業式、啓志式では、生徒たちに次のような話をさせていただきました。



生徒のみなさん、進級おめでとうございます。

そして、先ほどは、代表の生徒から新学期に向けた頼もしい発表があり、とてもうれしく思いました。代表の皆さん。素敵なお発表をありがとうございます。

さて、いよいよ令和7年度がスタートします。

9年生の皆さん。最高学年として、豊里中学校の顔として取り組む準備は整いましたか？これぞ「9年生だ！」という姿を見せてくれることを期待しています。数多くのことがすべて中学校最後のものとなります。後悔しないように、一日一日を全力で精いっぱい取り組んでほしいと思います。

また、8年生の皆さん。明日は行ってくる7年生の先輩として、お手本となる準備はできていますか？昨年度の皆さんがそうであったように、緊張している7年生の身近で素晴らしい良きお手本として、頑張ってくれることを期待しています。

そして、7年生の皆さん。小中一貫教育において中学校への進級は、義務教育9年間の一つの通過点とも言えます。しかし、これからは豊里中学校への進級を機会に、これまでもっていた「志」、つまり夢や希望、目標をさらに広げる、あるいは近づける努力をしてほしいです。この「啓志」には、「志」をさらに大きく「啓(ひら)く」という意味が込められています。

7年生の啓志式にあたり、豊里中学校の校訓についてお話します。豊里中の校訓には、三つの「教え」つまり目指す姿があります。それは「自主」「勤労」「協和」です。

「自主」とは、自分で判断し、進んで行動すること。

「勤労」とは、目的意識をもち、最後までやり遂げようとする強い意志をもつこと。

「協和」とは、自分や相手を認め合い、心を合わせて協力すること。です。

豊里中学校で過ごすこれからの三年間には、日々の学習はもちろん、体育祭や文化的な行事である「ゆたか祭」、スキー宿泊学習や修学旅行、そして部活動など、様々な行事や教育活動があります。ぜひ、この三年間で、豊里中の校訓である三つの教えをしっかりとし身に付け、自分の夢の実現に向かってほしいと思います。

令和7年度がスタートするにあたり、全校生徒に向けて大切なお話をしたいと思います。

それは、豊里中学校を「みんなが幸せな最高の学校」にするということです。では、みんなが幸せな最高の学校とは、どんな学校なのでしょう？

それは、みんなが安心して生活できることはもちろんですが「一人ひとりが自分の夢や目標に向かって取り組む学校」「友達やクラスメイトと協力して取り組む学校」だと思います。

そんな、学校にするために、今年も3つのことを常に頭において取り組んでください。

一つ目は「ゆ」：夢や目標に向け力いっぱいチャレンジしていきましょう

二つ目は「た」：互いに認め尊重しあい、挨拶のできる人でありましょう

最後は、「か」：考えを発表しあい高めあう 毎日の授業・学習を大切にしましょう

この『「ゆ」夢への挑戦！「た」互いに尊重しあい元気な挨拶をし、「か」考えを持って授業・学習を頑張る』という3点を意識して、一年間取り組んでいきましょう。

今年度の皆さんの活躍に大いに期待しています。